



令和6年9月20日(金)5時間目 実施予定

土山駅北のこれからの考えるワークショップ

令和5年度、土山駅北のより良い未来のために、土山駅前自治会、土山駅北地区まちづくり推進協議会、播磨町が中心となり、土山駅北のこれからの考える活動が再スタートしました。

令和6年度は再整備に向けたゾーニング案をまとめることを目標に活動しており、現在は土山駅北に必要な施設・あったら良いと思う施設を検討しています。

土山駅北周辺地区は、駅前という交通結節点、播磨町の玄関口(播磨町の顔)という場所柄から、そこに住まう人々の意見だけではなく、様々な駅周辺利用者の意見を聞く必要があると考えております。

現時点ではなかなか若い世代の意見を把握できていないため、播磨南高等学校の学生の皆様にお力添えいただきたくお願いいたします。

事前課題①

実際に歩いたり、Googleマップのストリートビューで、現在の土山駅北の様子を見てみましょう。

事前課題②

『播磨町土山駅北周辺地区まちづくりコンセプトブック』を見て、なぜ土山駅北で再整備を検討する必要があるのか、地元にお住まいの方々はどんなまちになって欲しいと思っているのか確認しましょう。

事前課題③

事前アンケートに回答しましょう。「どんな施設があったらあなたは土山駅北に足を運びますか？」の質問にはたくさん回答してくれると嬉しいです。